

## 大会運営規定

1. 各チームとも試合開始1時間前には集合すること。
2. ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
3. 試合中ベンチへ入ることのできる人員を次の通り制限する。責任者、登録選手、監督、コーチ2名、マネージャー、スコアラーの計31名以内とする。※有資格者のトレーナーはベンチ入りを認める
4. 試合前のシートノックは5分以内とし、ノッカーは必ずユニフォームを着用すること。尚、大会運営上シートノックを行わないで試合をすることがある。
5. 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。（打者は天然芝の部分は使用しないこと。）
6. バットリング、マスコットバットは使用しない。
7. 試合回数はトーナメント方式7回戦とし、5回以降7点差のコールドゲームを適用するが、天候のほか諸問題のある場合は別途、協議する。
8. 規定の7イニングを終了し同点の場合、8回からタイブレークを行う。{タイブレーク} 継続打順の無死一、二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁走者は順次前の打者とする。
9. 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日100球以内とする。但し、投球中100球に達した場合は、その打者の完了か攻守交代までとする。
10. 大会使用球は（公財）全日本軟式野球連盟公認球M号とする。
11. 打順表は6部全て提出後、大会本部が照会した後、（2試合目以降は前の試合の4回終了後）球審立会いのもと攻守決定により本部にて交換する。
12. 打者、次打者、走者及びベースコーチはヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レガース及び、ファウルカップを必ず着用すること。
13. 上記及び金属バット、捕手用マスクは公認マーク入りのものを使用すること。
14. 試合前の用具点検を実施するので、相手チームがノックの間にベンチ前に用具を全て並べて置くこと。
15. 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム（背番号0番から99番までとし、監督30番、コーチ29番、28番、主将10番とする。）を着用すること。
16. 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
17. 本規定に定めていない事項、明確でない事項は、（公財）全日本軟式野球連盟の定める規定・規則及び、四国軟式野球連盟規定による。
18. 最終試合となったチームは試合終了後、ダッグアウトの清掃を行うこと